

H28年度東近江介護サービス事業者協議会 記念講演会 アンケート集計結果

演題：介護・福祉の仕事でプロになる 講師：日本女子大学人間社会学部 社会福祉学科 教授 久田 則夫 氏

日時：平成28年6月22日（水）13：30 場所：湖東信用金庫5階

参加者103人 回答者73人（回答率70.87%）

3. 今回の研修であなたが感じられたこと、学ばれたことをお答えください

- ・まず自分が動く、ほめ上手になる
- ・職員が仲良く働けることが一番。なあなあでなく。
- ・プロになるには、毎日が勉強だと感じた
- ・私はこの先、先輩になった時に後輩には優しく、そして相手と同じ位置に立って仕事をしたい。上から目線な先輩にはなりたくない。
- ・職場だけでなく、自分を見直す良い機会になった。
- ・プロと呼ぶに相応しいことに、何が必要か分かりやすく話していただき、これからは自分自身が気をつけようと考えました。
- ・利用者第一の気持ちで仕事をしていたが、職員の働きやすさがレベルの高い支援の秘訣であると思った。
- ・これまで出来ていなかった、していなかった事を今後は実践していきたいと思いました。
- ・気づいてもすぐに行動に起こすことがなかなかできないので、今後はすぐ行動に起こせるよう努めたい
- ・とても共感できることが多かった。
- ・上司は部下のミスの責任をもつ。手本を見せなければならない。「若い人はダメ」というが、それは上（親・大人）が手本を見せていないから
- ・まさに自分の職場が抱えている問題でしたが、どこか自分は蚊帳の外にいる錯覚に陥っていたと最後に気づきました。出来る事から取り組んでいきます。
- ・一昨年も先生の話聞いたが、その時より改善できている点もあるが、まだまだ、できていない点もあり改めて改善するよう努めたい
- ・良い職場になれば利用者さんへ良い支援が可能になる
- ・職場で問題になっていることが、講演内容だったので、とてもためになりました。
- ・困った職場の類型に、ほとんど上司が当てはまりました。どうすれば良いか、勉強になりました。
- ・利用者さんへの対応やケアについての研修は多いが、職員、職場の視点からの内容が新鮮だった。
- ・常に改善、行動し続けることが再確認できた。
- ・研修内容は自分が反省することが多く、とても勉強になりました。
- ・コミュニケーションの原則を学べた。伝えるように伝えないと、伝えたから伝わったとは限らない。
- ・まず自分で何が出来るかを考え行動に移していく。言葉だけでなく、まず行動！
- ・上司部下という関係だけでなく、それらを大きくとらえた職場全体での取り組みが大切であり、それを築くための一人一人の努力が大事と気づけた。
- ・プロの福祉仕事人としてのポイントが、まとめられていると感じた。
- ・人それぞれ個性があるため、それを一つにまとめるのは難しいと思いますが、細かく類型でタイプが分かり、今後のコミュニケーションに活かせる。
- ・もう一度、自分を見つめ直したいと思いました。
- ・個人としても会社の組織としても改善できることが多いと感じました。行動を起こしていきたいと感じました。
- ・日常の業務の中で改めるべき事に気づかされた。職場に持ち帰り注意し合える環境を作っていきたい。

- ・今まで当たり前にしてきた自分の仕事をどう見直していくべきか、一つの指針を得たように思います。
- ・まずは自分自身が行動で示すこと
- ・自分の行動にもっと自信を持つために勉強しなければならないと思った。
- ・私は、今の職場で一緒に働いている仲間は「縁」があって集まったのだから大切にしたいと思います。
- ・仕事で悩んでいたこと、考えていたことが明確に分かった。そしてそれを改善しようと思った。
- ・先生の経験談を取り入れながら話していただき大変わかりやすかった。話も面白くて良かった。改めて自分を見つめ直したいと思いました。
- ・利用者さんの接し方、仕事仲間の接し方を考える。
- ・発言を注意する。気が引き締まる講演でした。
- ・仲間を大切にしなければ良い仕事はできない。
- ・口だけではなく、行動を起こす→信頼関係が成立する。
- ・職場を大切にする。
- ・自分も自立、自分から自立
- ・自分の弱点がわかった。できている部分も確認できた。
- ・プロ意識を持ち、考えるだけで終わらず、行動に移すことが大切
- ・自分を振り返る事が必要だと思った
- ・福祉職場の現実をあまりにも表現されていて、改善できるか聞いていて難しく感じた
- ・自分がしている業務の中で、反省すべき事、ある職員に対してもっと気づいて欲しい事ばかり思っている事自体、なぜ気付いてもらえないか自分が気付いていきたい。とても意義ある講演会でした。ありがとうございました。
- ・全部参考になりました
- ・日々の職場の様子も見直しができ、再度考えることができた
- ・普段の業務を振り返りプロと胸をはって言えない言動があったと思います。自分がプロと胸をはって言えるような行動をとっていきたい。
- ・「自分のキャリアに責任を持つ」知識や技術を磨くための努力や工夫が自分には足りない気付くことが出来ました。
- ・職場環境を見直すことが大切と思わされた。4上手な職業人になる事の必要性を感じさせられました。
- ・なかなか人に注意をすることが出来なかったが、その人の事を思うと・・・共に働く人なんだから、はっきりとダメな事はダメよ!!と伝えてあげる事が良い関係で仕事ができるんだなあと感じました。
- ・社内でもチェックリストは活用してみたいと思いました
- ・職場に戻り考えを改めたい
- ・自力の言動をもう一度見つめ直したいと思います。職場の状態も(職場・建物内・備品)見直したいと思った。
- ・実践に基づいた講演でわかりやすく、大変よい研修でした。今日からの実務に活かせる内容ばかりです。ありがとうございます。
- ・内容が具体的でとても良かった。自身を振り返る良い機会になった。
- ・特に利用者に対するの対応やスタッフの言動について、問題点が再確認出来ました。
- ・プロ意識を高く持ち、自分の知識・スキルを高める努力を怠らない点

・施設内の職員で共有すべきことがたくさんあった。一緒に働く仲間をまず大切にする。仲間同士が働きやすい環境ができれば、ご利用者第一に考えられる職場になると学んだ。

自分も勉強をおろそかにしていることに気づかせていただいた。

・問題意識。全ての業務を徹底的に見極め、よりよい介護のために行動を起こす

・互恵の心を持つこと、4上手になることの重要性を感じた

・行動に移し、やり遂げる事、納得する事

・忘れていたことをあらためて指摘された思いでした。努力していきます。対人(弱者)の仕事はむずかしいですが・・・

・久田先生の話では、いつも自分をみつめ直すことができます。ありがとうございます。説得でなく納得力。いつも先生の姿からの話に納得し、心地よさを感じます。

・他の職員をもっと大切に「福祉の心」を忘れず仕事ができるよう、明日からもしていこうと思いました

・利用者本意の大切さを改めて学びました

・現場で活用していきたい。言葉使い等初心に戻って接していきたいと思った

・利用者や部下に対する接し方

・介護、福祉の仕事の中、利用者の立場ばかり考えていましたが、自分自身、そして共々働く職場、仲間の大事に気付きました

・経験年数だけを積み重ねている毎日になっていましたが、改めて8つの力を見直して現場に明日から戻りたいと思いました。

・職場での気付き

・仕事は人との関わりが大切だと改めて思った。以心伝心ではなく、自分から動き伝える努力が必要。

・一人一人がプロになる為に他の職員と励まし合い共に協力し利用者の立場になって考えていく必要があると思いました。

・よりプロとして働く意欲に繋がりました。気付いているのに放置しているケアに赤面しました。1歩、踏み出します。

4. 今後の研修会で希望するテーマがあれば具体的に記入ください。

- ・上司、部下との具体的なコミュニケーション能力のつけ方
- ・上司、部下の人間関係をよくする。職場内、だれもが働きやすい職場にする。というテーマで開催してほしい。
- ・新しい総合事業について
- ・介護等関係なく楽しいテーマがあればと思います。
- ・総合支援事業、今後の介護保険制度の動向
- ・ご利用者の家族などからの「苦情対応」「リスクマネジメント」
- ・認知症対応についての勉強会
- ・介護疲れで困っておられる家族へのケアについて、サポート方法など
- ・地域包括システム。誰がどう動く、イニシアチブをとる、具体的な例があれば。
- ・具体的、接遇について
- ・やる気
- ・精神障がい、発達障がい
- ・人材育成について

5. その他、当協議会等に対する要望・意見などご自由にご記入ください

- ・今の部署は、人間関係が良くないので、どうしたらうまく、みんながまとまる部署になるのでしょうか。
- ・クーラーが効きすぎて寒かった
- ・専門職としてのスキルアップ、意識の持ち方についての研修は、何度聞いても良いと思います。またよろしく願います。
- ・介護、福祉にたずさわる私達にこのような講演の機会をいただきありがとうございました。